

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	文庫連絡会交付金事務	5-15
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	3
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	生涯学習部石狩市民図書館	直通電話	72-2000
担当部長	渡邊 斉志	担当課長	丹羽 秀人
		担当者	五東 秀一

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	石狩市文庫連絡会が行う読書普及活動を中心とする事業に対し、交付金を交付する。 積算根拠: 文庫活動開催割額:300円(開室1日の経費)×90日 読み聞かせ出前活動開催割額:2,000円(出前1回の経費)×40回 読み聞かせトレーニング講座開催割額:		
(2)事業開始年度	平成12年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	
	施策項目(大)	(1)生涯学習の推進	
	施策項目(小)	団体・グループおよび指導者の育成	
	施策コード	50104	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	子どもの自主的な読書活動の推進を図ることを目的とする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	本を読む子どもを増やす。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	次の活動を行う文庫連絡会に交付金を交付する。 ・地域文庫の開庫、出前おはなし会の開催、大人に対する読み聞かせトレーニング講座の開催
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	
(6)事業の立案や実施における協働の視点	文庫連絡会は地域に根ざした活動を行い、図書館の外での子どもの読書活動を推進している。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	100	100	90	90
(2)その他の間接経費(千円)	0	0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	173	331	359	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	273	431	449	
事務に従事した正職員延べ人数	0.02	0.04	0.04	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
区分	H17	H18	H19	H20予算	区分	H17	H18	H19	H20予算	
	市補助金等(A)	100	100	90		90	消耗品費	35	41	35
会費	13	13	14	14	支	通信運搬費	40	38	37	38
諸収入	75	55	52	40	出	研修負担金	19	8	4	8
講座参加費	5	10	2	3		舞台運搬及び交通費	31	21	21	20
繰越金	2	3	7	3		資料印刷製本費	9	17	5	10
						20周年記念事業繰出金	0	20	20	20
計(B)	195	181	165	150		その他	58	29	40	21
(A/B)	51.3	55.2	54.5	60.0		計	192	174	162	150

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
文庫の開庫日数(日) (H19年度は文庫移転に伴い開庫日が減)	目標値	未設定	未設定	未設定	
	実績値	92	95	78	
	達成率	-	-	-	
出前おはなし会開催日数(日)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	78	70	71	
	達成率	-	-	-	
トレーニング講座開催回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	5	6	8	
	達成率	-	-	-	

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
文庫に来た人数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	810	523	698	
	達成率	-	-	-	
出前おはなし会の観客数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	2,910	2,732	2,992	
	達成率	-	-	-	
トレーニング講座参加者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	79	126	158	
	達成率	-	-	-	

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい	ア 施策との関連	1 密接な関連がある
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	2 普通	事業の成果と施策の成果とに関連があるか	2 関連がある
	3 小さい		3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない	イ 成果	1 すべて達成している
その事業に市が関与する必要があるかどうか	2 民間等でもできる	事業の成果は目標を達成しているか	2 一部達成している
	3 民間等でやるべき		3 達成していない
(2) 効率性		ウ 事業内容	1 極めて妥当
ア コスト削減	1 不可能である	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 一定の妥当性あり
コスト削減は可能か	2 難しい		3 妥当性が低い
	3 可能である	(1)~(4)の評価ポイント合計	
(3) 公平性		総合評価の参考にしてください。	
ア 受益者負担	1 不可能である	7~11	A or B
さらなる受益者負担は可能か	2 難しい	12~15	B or C
	3 可能である	16~21	D or E
10			

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
A	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	各活動とも成果をあげており、良好と判断する。	
(2) 今後の方向性・課題		読書普及のために読み聞かせ活動は必須であり、今後とも継続していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
A	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	課長評価を了承する。	
(2) 今後の方向性・課題		引き続き子どもの読書活動の推進を図る。なお、文庫連絡会が平成21年度から会の活動のあり方を変更する予定であり、新たな形での連携が必要であると考えます。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
文庫連絡会からの申し入れにより、交付金の支払いについては休止する。			